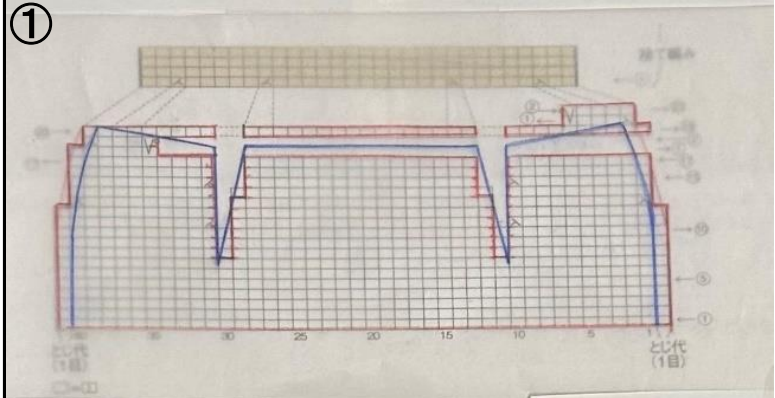
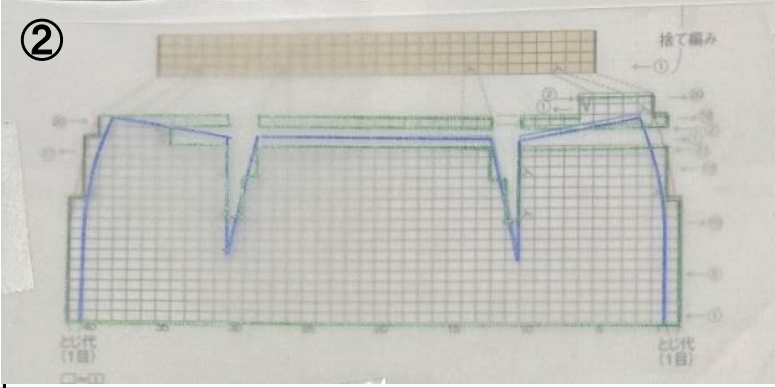


かぎ針編み棒針編み指導員テキスト改訂版伝達説明会 質問に対する回答

棒針編み指導員テキスト

ページ数	質問内容	回答
9	<p>今さらなのですが。肩の線ですが、製図のラインが左右で高さが違うのはおかしくないですか？あくまでも製図のラインは同じ高さを書くべきで、編み方が右が1段早くスタートするということだと。テキストだと右側が7段分の斜線になってますが、それが正しいのでしょうか？あくまでも計算の6段分で斜線を引かないとダメだと思のですが。</p>	<p>ご指摘いただきましてありがとうございます。9ページの製図のラインの赤い線ですが、左肩の肩先を1段下げた所と結ぶ線に訂正させていただきます。これにより、左右の肩の線の高さが同じになります。</p> <p>約7段分の斜線になりますが、これに関しましてもテキスト8ページの編み方図の、段数方向の肩下がり寸法と袖ぐり寸法を訂正させていただきます。</p> <p>肩下がり寸法 2c→2.3c 袖ぐり寸法 19.5c→19.4c</p> <p>編み方図では6段になっておりますが、割り出しの際に調整をした結果6段になったものですので、製図の線としては約7段分の斜線になります。</p>
13	<p>質問が2点あります。</p> <p>①ポロカラーの衿の台ですが、裏メリヤス、表メリヤスとご説明いただきましたが、私の教室では「手あみ大事典」93ページのように衿を身頃に縫い付けてから、長編みの台を編む方法を伝えていきます。(メリヤス編みの台の説明もしています) 確か、最初の指導員テキスト説明会の時も、長編みの台でもいい、と聞いたと記憶していますが、今後も長編みの台で指導してもいいのでしょうか？</p> <p>②現在、棒針編み指導員カリキュラム受講中の生徒さんが、改訂版テキストを見て、よかったら改訂版も購入したいとおっしゃっているのですが、旧タイプのテキストでレッスンをして、改訂版の作品を参考に提出課題を製作してもいいのでしょうか？</p>	<p>①ポロカラープルオーバーは棒針編みの作品ですので、衿の台も棒針編みの衿の台を習得していただくと良いでしょう。長編みの衿の台はかぎ針編みで習得出来るように、かぎ針編み指導員テキストに説明が入っております。</p> <p>棒針編みの作品だからといって、必ず棒針編みの衿の台にしなければならないという訳ではありませんし、かぎ針編みの作品だからといって、必ず長編みの衿の台にしなければならないという訳ではありませんので、かぎ針編み・棒針編みの両方の方法を習得した上で、指導員テキストの課題ではなく、お好きな作品を製作される際に作品に合った衿の台を選んでいただくと良いでしょう。</p> <p>また、生徒さんによっては、指導員では棒針編みだけを習得される方もいらっしゃるかもしれません。その時は、先生のご判断でかぎ針編みの方法をお伝えいただいてもかまいません。ただし、棒針編み指導員で提出される課題作品としては、棒針編みの方法で衿の台を編んでいただいでください。</p> <p>全体的なテキストの流れとしましては、棒針編みでは棒針編みの衿の台を習得していただき、さらに今回のテキストからは、メリヤス編みと裏メリヤス編みの両方の衿の台の違いを比べられるように、両方の衿の台の作品を入れています。また、その後の流れも踏まえて、指導員の段階でかぎ針編みで長編みの衿の台、棒針編みでメリヤス編みの衿の台・裏メリヤス編みの衿の台を習得しておいていただきたいということもあります。ですので、棒針編みの指導員の課題作品においては、棒針編みの衿の台で作っていただくようご指導いただければと思います。</p> <p>②改訂版の内容を参考にさせていただいてかまいませんが、レポートカードの提出作品がすべてそろって提出されているかにご留意ください。</p> <p>改訂前のレポートカードをもとに進められるのであれば、フリーラグランスリーブのプルオーバーが必須になります。一方、改訂版のテキストとレポートカードで進めるように切り替えられるのであれば、フリーラグランスリーブのプルオーバーが必須ではなくなります。</p>
24	<p>製図の勉強としてフリーラグランスリーブ、実際に編む時は袖幅を決めた製図法の等角ラグランスリーブにしてもよろしいですか？</p>	<p>テキストのフリーラグランスリーブや、テキスト22ページのラグラン起点を優先し袖幅がなりゆきになる縞合わせラグランスリーブ(等角ラグランスリーブ)を習得していただいた上で、応用していただくのはかまいません。手あみ大事典等を参考にさせていただくと良いでしょう。</p>

ページ数	質問内容	回答
31	<p>身頃、袖ヨーク部分のカーブの編み方について質問です。編み方手順には特別な記載はありませんが、このカーブ部分は減目ですか？それとも引き返しをしてもよろしいでしょうか。私個人的にはフラットな編地になる引き返しがベターだと思っていますので、教室ではそれを採用しております。引き返しの際のヨーク部分の目数調整(増し目)があるので、引き返しが逆に目立つとかの考えから、カーブは減目を採用なのでしょうか？</p>	<p>どちらの技法もあり、割り出しでカーブがすべて2段ごとの減目になるのであれば、引き返し編みでもよいと思います。仰る通り、引き返し編みにすれば伏せ目によるごろつきが出ませんので、よりフラットな仕上がりになります。引き返し編みの理解力や、その後の丸ヨーク部分の目数の増し目の際のことなどを考えると、減目(伏せ目)を使用した方が技法的には易いので、生徒さんのレベルや好みによってご指導いただけるとよいでしょう。</p> <p>テキストの減目(伏目)の方法は、大きな衿ぐりと考えて拾い方をきちんとマスターできるチャンスでもあると思います。</p>
45	<p>ダーツ部分の編み方の編み図について これ、なぜ引き返しを右先行にしないのですか？基本通り右先行にすれば、20段目で引き返しの段消しも終わりますしスッキリすると思いますが？こちらからは編み図が送れないので詳細はお伝えできませんが、綺麗に編めますよ。わざわざこうなっている理由をおしえてください。</p>	<p>ご指摘をいただきましたように、右側からスタートして段消しをしながら左側へという方法が一般的には考えられると思います。しかしながらここでは、できればベルトの際で引き返し編みをする事により、より綺麗に仕上がる方法としてこのようにしています。</p> <p>本来であれば、さらに綺麗に仕上げることを考えると、糸を切り、左右を引き返し編みだけで段消しをせずに、ベルトをつける方法が一番スッキリとします。下へ下がれば下がるほど、引き返し編みの位置が目立ちます。テキストでは、後の始末を考えると少しでも糸を続けて編みながら、段消しも回避している方法になっています。(機械編みでよく使う方法ですが)ご指摘いただいた先生のようにお考えいただいても正しいと思います。</p>
45	<p>縦ダーツの最初の減目位置は、先端ではないのかなど。棒針講師科指導書の15ページの横ダーツの場合は先端で減らしていますし、縦の場合は何か違うのでしょうか？</p> <p>①</p>  <p>②</p> 	<p>棒針編み講師科指導書15ページの横ダーツというのは、A-②のサイドダーツのことでよろしいでしょうか。ここではサイドダーツのこととし、さらにサイドダーツを横方向として、スカートの下半身ウエストダーツは縦方向として、説明いたします。まず、横方向のサイドダーツと縦方向の下半身ウエストダーツでは、方向が違います。ここがポイントになってきます。横方向のサイドダーツでは、ダーツ先で操作をしても全体の身幅の寸法や、丈の寸法に影響しません。全体の身幅は減っていませんし、丈も脇やダーツよりも内側の中心側でも寸法が確保されています。それに対して縦方向の下半身ウエストダーツではどうでしょうか。ダーツ先から減目をした場合、丈に関しては問題がないようです。では、幅に関してはどうでしょうか。テキストの図の上にトレーシングペーパーをのせて書いてみたものが左①の写真です。</p> <p>青い線が製図の線、赤い線がグラフ上で割り出した線になります。青い製図の線の内側に、赤い割り出しの線が書き込まれています。これを見ると、製図の線よりも内側に入ってしまう、そのまま編むと製図で書かれている寸法よりも小さい寸法で出来上がることになります。つまり製図の寸法が確保されていないことになります。</p> <p>この部分は、ウエストからヒップにかけての場所になりますので、寸法が不足することは避けたい所で、寸法の確保が必要になります。</p> <p>次にテキストの場合の左②の写真を見てみましょう。</p> <p>青い線が製図の線、緑の線がグラフ上で割り出した線になります。棒針編みの割り出しの性質上、上の方では内側に入ってしまうますが、ダーツ先で減目を始めた場合よりも、内側に入る部分が少なくなっています。製図の寸法を出来るだけ確保しながらダーツも成り立たせている割り出しになっています。</p> <p>かぎ針編みでは、製図の線の端線を確保しながら模様の割り出しをしますので、製図の寸法を確保する事が出来、横方向のサイドダーツでも縦方向の下半身ウエストダーツでも、ダーツ先の部分から同じように考えて割り出しをすることが出来ます。</p> <p>しかし、棒針編みでは割り出しの性質上、どの部分でどの方向にどのようにダーツを入れるのかによって、どのように割り出しをした方が良いのかを考える必要があります。</p> <p>これらを踏まえて、先生のお考えでご指導いただければと思います。</p>

ページ数	質問内容	回答
50	編み方の手順の11.衿の台を編み、後ろ衿ぐりと合わせる。というところが分からなかった。もう一度、編み上がりをみたい。	フード部分の衿の台の割り出し方・編み方・付け方等に関しましては、ポロカラーの衿の台の割り出し方・編み方・付け方等を応用して同様につけています。フードでは、後ろ衿ぐり部分のみに衿の台をつけています。この作品の衿の台は、メリヤス編みになっています。
51～55	靴下用の段染め糸が多くありますが、手袋や靴下をメリヤス編みのみで仕上げてもよろしいでしょうか？	かかとの引き返し編みの技法、つま先のメリヤスはぎ等ポイントになる点をおさえていただければ、糸についてはソックスやその他の靴下に適したタイプ、昨今の流行を考慮して段染めのメリヤス編みでもよいと思います。(かかとの引き返し編みの技法と割り出しが最大のポイントです。)段染め糸で模様を入れると、模様によっては効果的に現れないことがあるので、そのような経験にもなるかと思えます。
53～55	ひざ下丈のハイソックスの縁編みを、ひざ下の円周ではなく、ひざ回りの寸法から計算するのはなぜですか？	ひざから下の部分ですが、ふくらはぎの一番太いところから、ひざ下の部分で少し細くなり、ひざでまた太くなります。寸法は個人差がありますが、ひざ下の部分は細くなることが多いです。この部分で、作品の出来上がりにしたい場合ですが、実際に着用する際には、靴下のはき口はふくらはぎを通過して着用することになります。その為、ふくらはぎの太さが通る寸法を確保する必要があります。ふくらはぎの寸法を測ることも考えられますが、テキスト上、一般的に分かりやすく、安定して採寸出来る所で関係する所を考えますと、ひざ回りの寸法から計算をして割り出すのが程良いのではないかと思います。ただし、他の部分のように10%カットでは、少々ゆるくなってしまふ為、テキストでは一般的な数字として15%カットとしています。これも個人差がありますから、各自の様子を見て判断していただくと良いでしょう。もし、はき口の位置の一周の長さがひざ回りよりも明らかに細くなるような丈の作品を編む場合は、はき口の位置のふくらはぎの一周の長さを採寸し、フィットさせるために10～15%カットすればよいでしょう。
ラグランスリーブについて	ラグランスリーブプルの課題が改訂テキストから減りましたが、旧テキストで勉強している人も提出しなくて良いですか？それとも旧テキストの人は必須でしょうか？現在勉強中でこれからラグランスリーブに入る生徒がいます…(^-^);	改訂前のテキストでお勉強されていた方は、改訂前のテキストについてのレポートカードの内容に沿って課題を提出していただくこととなります。ですので、フリーラグランスリーブのプルオーバーは課題として提出してください。改訂後のテキストとレポートカードで進めるように切り替えられる場合は、フリーラグランスリーブのプルオーバーは必須課題ではなくなります。

### その他(かぎ針編み棒針編みテキスト共通)

ページ数	質問内容	回答
卒業作品に関する確認	棒針編みは児童用のプルオーバーとスカート単品を除くと、はっきし書かれています。かぎ針は児童用のポレロを除くと書かれています。かぎ針ではフレアスカート単品を提出しても宜しいですか。確かしご説明されていたのにあいにく記憶が曖昧でもう一回確認させて頂きたいです。	棒針編みとかぎ針編みで表記を統一しておらず、分かりにくくなってしまい申し訳ございません。今後、棒針編みに合わせて統一していく予定です。かぎ針編みの卒業作品としては、フレアスカート単品での提出ではなく、スカートを提出される時は、レポートカードの最初にある通りスーツとして提出していただけてください。
	個人的な疑問になりますので捨て置いてかまいません。洋裁の製図法かもしれません。テーラードカラージャケット等で、編み続きの衿の場合、前身ごろに衿をつなげて書きますが、後ろ衿の部分について 倒し分をつけて書く方法があります。これがよくわかりません。	申し訳ございません。洋裁に関するご質問はお答えすることが出来ません。(倒し分云々での考え方は、ヴォーグ式では採用していないため)

